

保健だより <感染性胃腸炎特集>

強い感染力のある感染性胃腸炎も県内で発生しています！

佐賀県内でまだまだ発生は続いており、特に嘔吐した場合の吐物の乾燥による飛散は、感染力が強いので心配されます。ていねいでこまめな手洗いはもちろんのこと、普段何気ない食べ物や飲み物を共有するなどの行為は絶対しないでください。集団感染の発生につながります。

特に給食中は気をつけてください。

「自分を守れば大切な人や家族を守れる。予防こそ病気に負けない最良の手段」

<潜伏期間と症状>

潜伏期間(感染から発症までの時間)は24~48時間。

吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱は軽度。通常 3 日以内に回復。ウイルスは感染後一週間、糞便中に排出される。

<感染経路>

1. 汚染された貝類を、生あるいは十分加熱調理しないで食べた場合
2. 食品の製造や調理を行う人が感染していて、その人を介して汚染した食品を食べた場合
3. 患者の糞便や嘔吐物から二次感染した場合

<予防策>

1. なるべく生食を避け、十分加熱して食べる。
2. 調理前や食事前、トイレの後は必ず石けんで手洗いをすること。自分のハンカチを持っておく。
排便後は、いつもより厚めにトイレトペーパーを使う。
3. 感染力は強いウイルスであるが、体力や病気に対する抵抗力があれば、感染しないので日頃から手洗い・うがいなど感染症対策に心がける。(これから多くなる風邪、インフルエンザも予防方法は同じ)
4. 嘔吐物や排泄物の処理方法は下のとおり

★用意するもの…

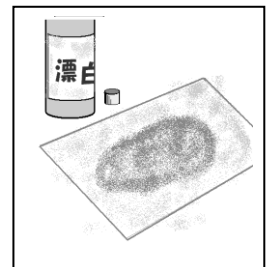
使い捨て手袋、マスク、えびろん、足カバー袋、キッチンタオルか新聞紙、布(ぞうきん)、ポリ袋、凝固剤(吐いたものや下痢等を固める粉)、次亜塩素酸ナトリウムを含んだ漂白剤など

- ①窓を開けるなど換気を十分にする。
- ②手袋、マスク、エプロンをつける。

- ③凝固剤があれば、吐物や排泄物に振りかけて固める。無い場合はそのままキッチンタオルか新聞紙をかぶせ、吐物が飛散しないようにする。外から内に向けて拭き取ること。同一面でこすると汚染を広げるので注意。足元も注意。



- ⑤吐物を取り除いた後の汚れた床と周囲は、キッチンタオル等をかぶせ、その上から漂白剤(目安:ペットボトル500mlの水にキャップ2杯入れて作る)をかけ、染みこませて10分後に拭く。その後、水拭き(特に金属部腐食防止)をする。



- ④拭き取ったキッチンタオルや布はポリ袋に入れて密封する。

- ⑥使用した手袋、マスク、エプロン、足カバーもポリ袋に入れて処分し、入念に手を洗う。

生徒のみなさんへ 気をつけてほしいこと

1. 気持ちが悪くて吐きそうになったときは、まずトイレの便器に吐いてください。

トイレで吐いたときは必ず先生に連絡をしてください。

2. もし、途中で吐いてしまったときは、その場に座って動かないでください。

3. 換気をしてください。

4. 周りにいた人は、処理を手伝う前に、先生に連絡してください。

5. 吐いたものを処理するときは、使い捨てのゴム手袋、マスク等を使用し消毒をします。先生達で行います。使用した新聞紙やぞうきん等すべてビニール袋に入れて口をしっかりとしばり捨てます。

6. 感染性胃腸炎が疑われる症状でないときも、吐いた物の処理はきちんとしていきますので、必ず近くの先生に連絡をしてください。

7. 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱などの症状がある時は、必ず病院を受診してください。

8. 感染性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス…などが原因)と診断されたら、出席停止となりますので、必ず学校へ連絡をしてください。